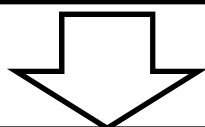


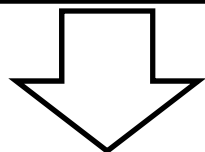
平成29年3月

「第3次食育推進基本計画の5つの重点課題について議論していくべきと思われる視点・ポイント」についての対応手順（案）

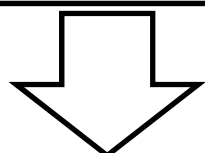
各委員より、「第3次食育推進基本計画の5つの重点課題への取組の方向性について重点課題ごとに議論しておくべき視点・ポイント」の御提供



いただいた視点・ポイントについて、事務局（農水省）において重点課題ごとに整理した表(別紙1及び2)を作成し、平成29年3月29日評価専門委員会にて配布



いただいた各事項について、関係府省庁において考え方を整理



各重点課題をテーマとして行う評価専門委員会において意見交換

別紙 1

食育推進基本計画の推進状況の評価についての全体的な御意見

◎

1. 全体についての意見

第3次計画の評価を確実に行うために、以下の整理が必要と考えます。

① 5つの重点課題と、目標項目との対応を整理。

どの目標項目の変化で、どの重点課題に対する成果を把握することができるか？ 重点課題に対して、適切な目標項目がない場合、或いは十分でない場合には、さらに、どのような指標で把握するべきかを整理。

② 次に、各目標項目或いは、追加した指標の把握方法について確認、整理。

③ 目標項目によっては、その変化が何に役立ったのかを明確にすべきものがあり、その整理を行う。例えば、中学校における学校給食の実施率の向上は何に寄与したのか。中学生の栄養状態？ 知識の向上？ 学業成績の向上？ このような方法で食育施策（計画）の評価を行うことが必要と思います。

2. 重点項目ごとに推進状況と工夫、期待される成果の議論を

重点項目ごとに、どのような取組みがされて、その結果どのような効果が期待できると考えているのかを情報共有し、議論したほうが良いと思います。それにより、推進状況の濃淡が見えてくると考えるからです。

例えば、若い世代を対象とした食育の取組みの場としては、大学、職域、地域が考えられる。それぞれの場でどのような取組みが推進しているのか、どのように働きかけているのか、などの議論を具体的に行うことが必要と思います。

・大学であれば、学生食堂を利用した朝食や野菜メニューの提供、或いは学生向けの食育に関連した講座（健康・栄養学の講義）の実施など。

・職域であれば、新入社員研修の中で、健康教育の一環として栄養教育（食育）を行っている会社はどのくらいあるのか（増えたのか）。増やすための働きかけは、どういう方法で行われているのか。健康経営の理念を利用した取組みなどが出てきているのか。

・地域であれば、食育を母子保健事業の一環として位置づけて取り組んでいる自治体があるか。（自治体によっては母子健康手帳を渡す際、保健師が全員面接をして渡している自治体もあるが、その中で適正体重の維持など栄養面の情報が適切に提供されているか、など）

◎

第2次食育推進基本計画での目標値達成は2項目のみ。第3次ではこの数値を高める工夫が欲しい。地方自治体が食育推進計画を作成・実施することは勿論のこと、各項目に対する実施率などを年次報告あるいはランキングとして公表してはどうか。

◎

1. 全体的な視点・考え方

第3次食育推進基本計画の完成年度においても、成果の評価を行うことになると思いますので、5つの重点課題をどう推進していくかについては、各重点課題に関連する具体的目標項目21項目（目標数値）をどう推進・改善していくかが重要であると思います。

つまり、21項目の具体的目標は、それぞれどの主体をターゲットに、どのように働きかけていくかを整理する必要があるかと思います。

その上で、どのような連携体制の強化が必要か、予算の拡充が必要か、法や施策の改正、整備が必要なのかが見えてくるように思います。

2. 情報発信・普及啓発・理解促進面

国民の個人的な改善項目（朝食欠食、食品安全の理解、食事バランス、共食、生活習慣病予防、ゆっくりよく噛んで食べる等）の改善を図るために、どのような情報発信・理解促進強化が必要か？その有効な方法は？

→情報発信の主体との連携構築

→啓発方法によっては予算的措置も必要

〔 参考：沖縄県では、TVのCMで、生活習慣病予防の啓発CMが流れている。 〕

※個人に啓発する必要がある食育推進の課題、個人ではどうにもならない部分の食育推進の課題があると思いますので、それぞれによって、どのような視点、措置が必要かも変わってくると思います。

特定課題について御提出いただいた「視点・ポイント」					
重点課題に対するもの					その他
若い世代に対する食育の推進	多様な暮らしに対応した食育の推進	健康寿命の延伸につながる食育の推進	食の循環や環境を意識した食育の推進	食文化の継承に向けた食育の推進	
○高校・大学食堂からの食育 ○社員食堂からの食育 ○高校・大学・専門学校等での食育の活性化 ○大学生向け食育講座 ○教員の履修科目 ○社員研修による食育 ○親子体験による親への食育 ○児童・学生等の親への食育 ○世代に適した情報発信 ○若年女性向け情報媒体による食育 ○多様な情報発信手段の活用 ○課題ごとにターゲットを絞った情報発信 ○メディア関係者等も含めた関係者の連携強化 ○取組主体の特定・連携・協力体制 ○自治体・企業等連携への国からの支援 ○医療・保育・教育・栄養等各分野の連携強化 ○口腔機能発達への食育 ○ライフステージをつなぐ食育 ○ライフイベント時の食育 ○母子保健事業による食育 ○青少年活動団体による食育 ○「早寝早起き朝ごはん」国民運動 ○食育推進基本計画のPR ○「美味しい食事の作り方」普及への調理師等の活用 ○食育の視点からの完全給食の実施等 ○学校給食の充実	○食生活弱者対策としての共食推進 ○データ分析による多様な暮らしに起因する食生活の問題点明確化 ○「早寝早起き朝ごはん」国民運動 ○「美味しい食事の作り方」普及への調理師等の活用 ○中学校における学校給食実施率の向上 ○食育の視点からの完全給食の実施等 ○貧困家庭への新鮮な地域食材提供	○食育施策の健康寿命延伸貢献度の研究 ○食塩摂取状況の現状についての理解促進 ○中高年男性肥満の現状についての理解促進 ○世代に適した情報発信 ○加工食品の栄養表示に関する普及啓発 ○減塩・低カロリー食普及への調理師等の協力 ○「美味しい食事の作り方」普及への調理師等の活用 ○学校保健・学校給食・健康教育の連携 ○自治体・企業等連携への国からの支援 ○食育と運動促進の連携 ○食品業界・医療等各分野の連携強化 ○低栄養防止等に向けたスマイルケア食等の普及啓発 ○健康寿命延伸活動表彰による食育の推進 ○高齢者の社会貢献・参加 ○健康な高齢者の人材活用 ○高齢者の口腔機能低下予防	○学校給食における地場産物(国産食材)を使用する割合の増加に向けた働きかける主体の特定 ○学校における取組状況・成果の把握 ○食品ロスの問題に関する理解促進に向けた情報発信 ○食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の増加 ○農林漁業体験を経験した国民の増加	○日本食の健康効用等についての科学的知見の蓄積 ○食文化についての情報発信 ○行事食やその意味の継承 ○地域食文化の文献化 ○食文化を意識した学校給食による食育 ○和食給食提供の環境整備 ○郷土料理等給食用食品の開発 ○食文化を意識した給食の保護者や地域の方と児童生徒の共食等 ○学校での食文化の学びへの地域の協力 ○栄養教諭の配置 ○地産地消等地域の活性化と結びつけた行事食継承 ○食文化継承に向けた子供たちに身近な体験の場づくり	○地域で食育に取り組む民間団体やグループの育成 ○食育推進基本計画のPR ○地方自治体による学校時間外の食育 ○食育についての学習成果についての認定